

2017年度日本農業経済学会第4回常務理事会 議事録（案）

日時：2018年3月24日土曜日 13:00-15:45

場所：東京大学農学部1号館324教室

出席者：盛田会長，坂爪総務担当副会長，玉国際担当副会長，松本編集担当副会長，松田情報担当常務理事，品川学会賞・国内学術担当常務理事，大石財務担当常務理事，内藤企画担当常務理事，加治佐国際担当常務理事，齋藤農業経済研究（和文誌）編集委員長，首藤会長補佐，草処総務担当常務理事，山本事務局担当

欠席者：小田企画担当副会長，東山開催校担当常務理事，小山東北地区担当常務理事，榎平中部地区担当常務理事，加藤北陸地区担当常務理事，多田近畿地区担当常務理事，保永中国地区担当常務理事，前田九州地区担当常務理事

1. 会長挨拶 盛田会長

2. 2018年度北海道大学大会について（企画担当，大会校）

2.1 企画担当報告（大会シンポジウム・個別報告）

- ・企画担当常務理事より，大会シンポジウム，個別報告（口頭報告・ポスター報告，特別セッション）の概要について説明が行われた。

2.2 連携・国際委員会共催シンポジウム

- ・会長より，連携・国際委員会共催シンポジウムの概要について説明が行われた。
- ・会長補佐担当常務理事より，同シンポジウムに対し農林資産省の後援を得たことが報告された。

2.3 大会開催校

- ・総務担当副会長より，大会準備の進捗状況について説明が行われた。
- ・大会シンポジウム・総会のタイム・スケジュールに変更があったことが報告された。

3 各担当業務報告

3.1 総務

3.1.1 財務（2017年度決算報告）

- ・財務担当常務理事より，2017年度の決算報告が行われた。

3.1.2 学会賞・国内学術交流

- ・総務担当副会長より，2017年度の学会賞選考委員会の選考結果が報告された。
- ・学会賞・国内学術交流担当常務理事より，日本農学会賞を新山陽子名誉会員が受賞し，授賞式及び祝賀会が2018年4月5日に開催されることが報告された。
- ・また，日本農学会平成30年度シンポジウム（2018年10月13日開催予定）におい

て、坂本清彦会員が基調講演を行うことが報告された。

- ・農学会技術者教育推進委員会の名称が農学教育推進委員会に変更されたことが報告された。
- ・北海道大学大会において農業経済学会関連学会協議会及び関連学会編集委員長会議を開催することが報告された。

3.1.3 情報

- ・情報担当常務理事より、本年度の和文誌の J-stage への搭載実績が報告された。
- ・北海道大学大会までにニューズレターの第 1 号を配信すること、また、第 1 号の掲載内容について報告された。
- ・4月1日より、事務局が(株)共立に移転することから、新メールアドレスをさくらインターネットのレンタルサーバーに設定したことが報告された。
- ・高解像度の学会名のロゴを学会ホームページの管理を委託しているデザインフォービーに依頼し、同社から提案されたロゴ案のうち 1 つを、制作料、使用料共に無償で利用できることになったことが報告された。出席者によりロゴ案 6 種を確認し、第 6 案を採用することに決定した。

3.1.4 総務

3.1.4.1 名誉会員の規程について

- ・総務担当副会長より、名誉会員の枠を拡大することについて提起があり、現在の制度の問題点、拡大する場合の課題、手続きについて説明がなされた後、議論が行われた。

3.1.4.2 事務局移転について

- ・総務担当副会長より、第 2 回理事会で承認された新事務局の候補である株式会社共立と事務局委託契約が結ばれたこと、事務局機能を 4 月 1 日より共立に移転することが報告された。

3.2 編集（和文誌，英文誌）

- ・編集担当副会長より、和文誌・英文誌の投稿規程及び投稿細則の改正について提案があった。報告論文ならびに Research Letters について、投稿にあたって投稿審査料の納付を求めること、掲載が決定した投稿論文については速やかな掲載料の支払いを求めることを示す形に改正することが提案され、承認された。投稿規定の改正は理事会・総会での承認事項であるため、第 3 回理事会及び総会で審議されることになった。
- ・急逝された前英文誌編集委員長不破信彦会員に代わって、櫻井武司会員に英文誌の編集委員長を依頼することが報告された。
- ・和文誌，英文誌の編集委員の交代について報告された。

3.3 国際

- ・国際担当副会長より、2018年度の国際農経学会バンクーバー大会の運営支援に5,000US\$を拠出したことが報告された。また、国際農経学会やアジア農経学会への拠出は3年間隔となるため、記録を残すという意味から拠出するごとに契約書を交わす方針が示され、今回の国際農経学会から契約書を交わしたことが報告された。
- ・現国際委員会の構成が紹介され、急逝された不破信彦委員の補充は行わないことが報告された。
- ・2023年アジア農経学会日本大会の開催に向けた準備状況及び取り組みについて紹介があった。
 - a 学会内の機運を盛り上げるため、2018年度の北海道大学大会で初開催となる連携委員会・国際委員会共催シンポジウムを2023年まで継続的に開催していく方針が示された。
 - b アジア農経学会の理事に不破信彦前理事の後任として、加治佐敬委員が就任することが報告された。
 - c 国際委員会が日本大会の予算規模を検討していくが、資金の確保について議論が行われ、今後、寄付金の募集のみでなく、会費の値上げも検討していく必要があるという認識を、常務理事会として確認した。

4 農業経済学事典編集状況について

- ・盛田会長より、農業経済学事典の編集状況の説明がなされた。

5 会則・規程・細則改定の必要について（確認）

6 2018年度予算案について

- ・財務担当常務理事より、2018年度予算案が示された。予算案は承認され、第3回理事会に諮られることになった。

7 総務担当常務理事よりの確認事項

- ・総務担当常務理事より、地区選任理事候補者の推薦状況と北海道大学大会における幹事会、理事会の開催について報告された。

閉会

文責 首藤（会長補佐常務理事）・草処（総務担当常務理事）